

① 制度の概要

担い手減少やコスト高で不安定化する露地野菜産地を、実需者と消費者に選ばれる産地へ転換するための補助制度です。れんこん等4品目を対象に、差別化・販路・DXなどの革新取組を支援します。ソフト事業で商品開発や販路設計を行い、必要に応じて機械・施設整備を組み合わせます。

② 支援内容

□ ソフト事業

市場調査・商品開発・販路開拓・専門家活用等、産地の革新取組を支援。

最大1,000万円**助成率：定額**

□ ハード事業

省力化・品質向上に資する機械・施設整備（リース可）。ソフト併用が必須。

最大1,000万円**助成率：1/2以内**

③ 対象となる経費

【ソフト事業】

- 市場調査、試作・分析、専門家委託
- 資材購入、PR制作、デザイン委託
- 商談会・展示会出展、販促活動費

【ハード事業】

- 生産・選別・調製・出荷に必要な機械
- 施設整備や設置工事（付帯設備含む）
- 対象機械のリース導入費

④ 対象者

- 農業協同組合連合会、農業協同組合、農事組合法人、農地保有適格法人（農事組合法人以外）、特定農業団体などの農業者団体
- 上記に加え、農業者の組織する団体等で農林事務所長が必要と認める団体
- **応募時点で、れんこん・はくさい・キャベツ・レタスを生産／出荷又は販売していること**
- 次のいずれかを満たすこと
 - ・対象品目販売額が概ね1億円以上（令和6年4月～令和7年3月）
 - ・茨城県銘柄産地／銘柄推進産地の指定
 - ・同等要件と認められ高い効果が期待できること
- 市町村を含む行政機関や関係機関と連携した実施体制を持つこと
- **成果目標：構成農家1戸当たりの生産農業所得を10%以上向上**
- 上記達成のため、対象品目ごとの指定メニューから1項目以上の取組を行うこと。

⑤ 採択率向上のポイント

- 所得10%向上の根拠と道筋を数値で提示
- 産地課題と取組の因果を一貫して示す
- 必須取組の革新性と波及効果を具体化
- 選択取組は効果が高いものに絞り込む

⑥ 戰略的分析

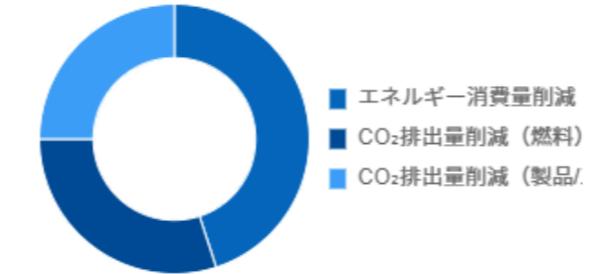
【差別化・販路はセットで設計】

- 商品開発だけで終わらせず需要先を先に確保
- 業務用・加工用など用途提案が鍵
- 価格訴求だけでなく品質・規格の強みを提示
- ブランド化はストーリーと供給安定性が重要

【DX・省力化は共同運用が効く】

- 出荷予測や作業効率化は産地単位で効果増
- 導入後の運用体制を役割分担で明確化
- 省力化KPI（作業時間/ロス率）を定義
- 機械整備は必須取組の実現手段として位置付け

⑦ 取組メニューの構成イメージ



必須取組を核に、選択取組を効果順に絞る構成が評価安定。
※グラフはテンプレのplaceholderです（運用許可あれば差替可）。

⑧ 活動事例と分野

活動分野	代表的な取組例
差別化・加工	地域ブランド化、規格提案、加工品試作
販路開拓	実需者商談、展示会出展、取引条件整備
GAP・品質保証	GAP認証取得、栽培履歴管理の整備
DX・省力化	出荷予測、選別工程改善、省力機械導入

⑨ 専門家活用のススメ

- 行政書士・中小企業診断士：事業計画の整合と所得向上の根拠整理に有効。
- 農業経営・マーケ専門家：商品設計、需要開拓、価格戦略の立案を補強。
- GAP・DX専門家：認証取得やシステム導入の運用設計を支援。

⑩ 必要書類とチェックポイント

提出書類	チェックポイント
応募申請書	<ul style="list-style-type: none">□ 課題と取組の対応関係を明確化□ 所得10%向上の算定根拠を記載□ 必須取組の革新性と効果を具体化
根拠資料	<ul style="list-style-type: none">□ 販売実績・出荷量・面積の証明□ 産地指定・販売額要件の裏付け□ 連携機関の関与を示す資料
事業費内訳・見積書	<ul style="list-style-type: none">□ 対象経費の範囲に合致しているか□ ソフトとハードの一体性を整理□ 費用対効果の説明資料を準備
連携計画資料	<ul style="list-style-type: none">□ 行政・関係機関の役割分担を図示□ 実需者との連携内容を具体記載□ 成果の波及・普及の仕組み提示

⑪ 申請スケジュール

● 事前準備

- ・産地課題の整理と取組設計、連携体制構築。
- ・計画書・KPI（所得/単価/作業削減）を作成。

● 公募期間

2025年4月22日～予算上限到達まで随時

- ・所管の農林事務所へ提出。

● 審査期間

提出後、県が総合審査（時期は随時）

● 採択結果通知

- 審査後に順次通知
- ・採択後、事業実施計画書を提出。

● 交付決定

- 交付決定後に発注・取組開始
- ・完了後、実績報告と成果報告が必須

⑫ 問い合わせ

制度詳細

<https://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/sansin/yasai/roziyasainobe/roziyasai.html>
詳細な手続きや公募要項は必ず制度詳細ページをご確認ください。

お問い合わせ

茨城県 農林水産部 産地振興課
露地野菜グループ（露地野菜産地イノベーション推進事業担当）